

# これからの高1生が直面する 高校教育と大学入試の変化とは？

「大学入学共通テスト」実施2年目の世代となる新1年生が入学してきた。  
新2年生の1年次の指導を振り返り、新1年生を含む今後の高1指導を考える前に、  
これからの高1生が直面する高校教育と大学入試の変化を整理する。

● ● ●  
**思考力等の育成、英語4技能、  
多面的・総合的評価が鍵**

新2年生以下の世代では、高大接続改革（図1）の多くの施策が実行に移される（図2）。

その代表的な施策が、大学入試センター試験に代わって2021年に実施される「大学入学共通テスト」だ（図3）。実施に先立ち、18年11月には2回目の試行調査が行われた。17年度の1回目の試行調査と併せて分析すると、探究活動や授業の場面での知識・技能の活用を見る問題や、思考力をより重視した問題が出される傾向にあった。また、1回目と比べて問題文の分量は少なくなつたものの、現行のセンター試験よりは依然として多く、読解力が求められることも特徴に挙げられる。

また、英語4技能の評価については、その仕組みとして設けられる「大学入試英語成績提供システム」の概要が18年12月に公表され、共通IDの登録などの流れが分かってきた。  
全入試区分で多面的・総合的評価が実施され、高校3年間の活動の内容や質が問われる点も、大きな変化

図2

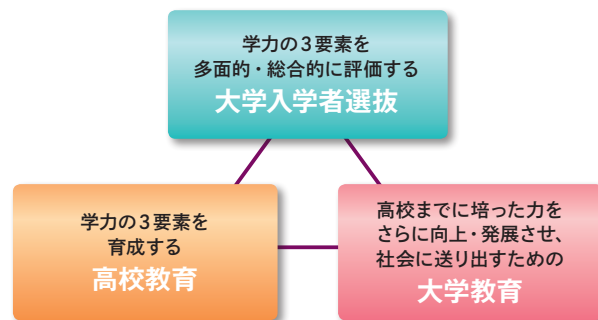
## 今後の大学入試改革の流れは？



図1

## 三位一体で進める高大接続改革とは？

学校教育を転換させるため、  
高校教育・大学教育・大学入試を一体的に改革



### 改革の背景は？

- ◎国際化、情報化の急速な進展により、社会構造が急速に、かつ大きく変革している。
- ◎知識基盤社会の中で、新たな価値を創造していく力を育てることが必要。

### 改革の目的は？

- ◎そうした変化する社会において自立的に活動するために必要な学力の3要素をバランスよく育む。

### 学力の3要素とは？

- ◎①知識・技能の確実な習得、②①を基にした思考力、判断力、表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度。

\*図1・2は、中央教育審議会初等中等教育分科会「高大接続改革の進捗状況について」（2019年1月）を基に編集部で作成。

## 社会で求められる資質・能力の育成 や大学入試の変化に対応した 4つの実践を紹介

### 青森県立青森高校 ▶ P.6

- コンピテンシー・ベースの学校教育目標「青高力」を策定
- 上記を基にしたルーブリックとシラバスを作成し、授業と定期考査を改善
- 振り返りがしやすいようeポートフォリオを導入
- キャリア教育委員会が仕組みをつくり、1学年団は実践に集中

### 東京都・私立郁文館夢学園 ▶ P.10

- 「社会探究」「協働ゼミ」で探究学習を実施
- 教育活動の軸に据えたSDGs(\*1)と、授業や学校行事、特別活動などを関連づけ、生徒の学びを深めさせる
- 紙のポートフォリオとeポートフォリオを併用し、振り返りをしやすくする

### 兵庫県立相生高校 ▶ P.14

- 「総合的な学習の時間」で、相生市と連携した探究学習を実施
- 授業内外で英語を使う場面を増やす
- 学校行事など、定期的に振り返りの場を設け、eポートフォリオも活用
- コンピテンシー・ベースの学校ランドデザインを策定

### 大分県立杵築高校 ▶ P.18

- 学年目標として、「きつき力」を設定
- ポートフォリオの目的や入力方法などを指導し、生徒全員が実りのある振り返りを行う
- 英語4技能の育成を強化。外国に触れるプロジェクトを始動
- 定期考査の一部に、思考力・判断力・表現力をより求める問題を導入

だ。生徒が高校生活における自身の活動を振り返り、活動の質を上げていくためにも、また提出書類作成のためにも、ポートフォリオの蓄積が求められる。

● ● ●  
**18年度の実践を、今後の高1指導にどう生かすか**

19年度は、次期学習指導要領の移行期間となる。新1学年では「総合的な探究の時間」が始まるなど、探究学習の本格的な実施が求められることになる(図3)。

21年に「大学入学共通テスト」が実施されることに対応して、多くの高校が18年度1学年の指導を従来とは変化したことだろう。その実践の成果や課題も踏まえて、今後の高1指導を計画・実践することが、高校現場には求められる。

そこで次ページからは、18年度1学年から大きく指導を変えた4校の実践と、その実践を中心として担った教師4人の座談会を通して、これからの高1指導のポイントを考えていく。

図3

## 大学入試、高校教育はどう変わる？

### 資質・能力が評価される大学入試に

#### ◎思考力・判断力・表現力がより求められる

「大学入学共通テスト」では、「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」において、思考力・判断力・表現力等を測る記述式問題が出される。

#### ◎英語の4技能評価を実施

「大学入学共通テスト」の枠組みにおいて民間の英語の資格・検定試験を活用する、英語の4技能評価の仕組みが導入される。

#### ◎多面的・総合的評価と調査書の仕様変更

個別大学の入試に新たなルールが設けられ、すべての入試区分において多面的・総合的な評価が実施される。それに合わせて調査書の記載内容を改善。両面1枚の制限も撤廃し、より弾力的に記載できるように。

### 移行措置として「総合的な探究の時間」開始

2019年度から、次期学習指導要領の移行措置として「総合的な探究の時間」が始まる。また、移行期間ではあるが、資質・能力の3つの柱のバランスのよい育成も求められる。

\*1 Sustainable Development Goals の略。2015年に国連が掲げた、持続可能な開発目標のこと。①貧困をなくそう、②飢餓をゼロになど、17の目標と169のターゲットから成る。